



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党
福山市議会議員団
津之郷町津之郷 970-1
084-952-2662

12月議会直前 常任委員会報告

クラゲ被害の実態調査を

6年ほど前から福山市の近海でミスクラゲが急増し、漁業被害が生じている問題で、市は昨年度から県内では初めて漁船にクラゲカッターを設置するなどして駆除対策を進めていますが、今年度の対応状況について18日の文教経済委員会で報告がありました。

被害の実態調査し 漁業者への支援を

漁するケースが生じており、沖合においても6月から9月まで長期の被害が観測されるなど、影響は深刻です。

今年度は成長途中のクラゲを対象とした早期駆除にも取り組み、市が行う定置網船による駆除と、県による底引き網船による駆除の推定駆除量は合計で約478㎡でした。

みよし剛史市議は被害件数や被害額など、漁業への影響の実態について問いましたが、市は被害件数や金額を把握していませんでした。

クラゲの大量発生要因は近年の温暖化や魚の減少によるプランクトンの発生など、漁業者の努力で対応できない事象であることから、みよし市議は、詳細な被害実態を調査し、駆除と同時に漁業者支援を行うよう求めました。市は「より詳細に調査する」と応じました。

その後の対応について塩沢みつえ市議が質したところ、市は保護者の不安に寄り添うため、個別相談会を希望者に行うなどして対応していると説明しましたが、個別相談会への申し込みは6件にとど

南部保育所の統廃合を認可

子ども目線の施設整備を

18日の民生福祉委員会において、今年4月に民間移管したばかりの南部保育所を廃止し、移管先の法人が運営する花園こども園へ認可替えすることが明らかにになりました。事実上の統廃合です。

まっとうおり、5歳児クラスを除いた在園児の世帯の約2割でしかありません。保護者への対応は十分でなく、塩沢市議は統廃合の見直しを求めましたが、市は「中止することはできない」とあくまでも強行する姿勢です。統廃合の影響は保護者や子ども自身に降りかかるものであり、市は重い責任を自覚すべきです。

4月の移管時には保護者へ統合の説明を一切行わず、7月に初めて南部保育所の廃止・統合の方針が明らかにされたことは、到底保護者が納得できるものではない事を指摘をしていました。

9月議会でもみよし市議は、4月の移管時には保護者へ統合の説明を一切行わず、7月に初めて南部保育所の廃止・統合の方針が明らかにされたことは、到底保護者が納得できるものではない事を指摘をしていました。

保護者対応不十分 統廃合を強行姿勢

その後の対応について塩沢みつえ市議が質したところ、市は保護者の不安に寄り添うため、個別相談会を希望者に行うなどして対応していると説明しましたが、個別相談会への申し込みは6件にとど

教育・保育施設の認可の状況

〔幼保連携型認定こども園〕

(単位：人)

施設名	移行前施設種別 【旧施設名】	区域	利用定員				
			1号	2号	3号		計
					1・2歳	0歳	
認定こども園 めばえ	幼稚園 【めばえ幼稚園】	中部	75	95	45	9	224
幼保連携型認定こども園 まつば	保育所 【まつば保育所】	西南部	6	30	20	10	66
花園こども園	保育所 【南部保育所】	中部	9	90	60	20	179
計	施設数		90	215	125	39	469
	3施設						

バイパスの会が国・市と懇談

住民に説明責任果たせ

「福山バイパスと区画整理を考える会」は、11日に福山市福山道路・幹線道路課と、17日に国交省福山河川国道事務所と懇談を行いました。よし市議が同席しました。

市と国交省は、「HP等で周知をしている」「土地取得時には不動産業者から説明されているはず」と応じ、地域住民は計画を「認識している」としています。

懇談は、同団体が昨年12月に市と国交省に質問書を提出し、今年2月末の文書回答に基づくもので、4月に引き続き2回目の意見交換となりました。

しかし、ルート上の地域では新たな宅地開発が続いており、道路計画の経緯を知らない世代の住民など、情報が十分に伝わっていないのではないかと懸念の声が続きました。

計画決定後24年 住民への説明不足

懇談では、市・国交省ともに福山道路のルート上の住民への説明会は、整備の事業化が決定した後でなければ行わないとする回答が続けられていることに対し、福山道路の都市計画決定からすでに24年が経過しており、住民説明会の必要性について論議が行われました。

2001年の都市計画決定時の付帯決議では、「住民によく説明すること」が明記されており、事業者である国の説明責任が求められます。



17日に行われた国交省との懇談の様子